

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.72

調査者	井澤 和夫、加藤 倫卓、山本 周平
情報ソースの刊行日	2021年3月16日
情報ソースの調査日	2021年3月17日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2021年3月19日
日本語タイトル	心血管疾患患者の身体的および心理的機能は、日本の COVID-19 パンデミックによる緊急事態宣言の間に低下する
情報ソース	Ishihara K, et al., Physical and mental functions of cardiovascular disease patients decrease during the state of emergency initiated by the COVID-19 pandemic in Japan. Reviews on Recent Clinical Trial, Published: 2021 Mar 16
情報のカテゴリー	生活期の心リハ・その他
発信地域	アジア(日本)
URL	https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/33726657/
要約	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19 パンデミックによる緊急事態宣言前後に心血管疾患患者の身体的および心理的機能が比較検討された。 緊急事態宣言の前後(2020年1月15日～3月17日と2020年7月1日)で、身体的機能(Life-Space Assessment: LSA)と心理的機能(日本語版 Five-level EuroQoL Five-dimensional questionnaire: EQ-5D-5L)が比較検討された。また、患者特性とΔLSA およびΔEQ-5D-5Lとの関係についても検討された。 身体的機能は、(LSA; 前: 94.9 ± 20.5 点、後: 81.8 ± 18.9 点、$p = 0.004$)、心理的機能は、(EQ-5D-5L; 前: 0.9 ± 0.1、後: 0.8 ± 0.1 点、$p = 0.009$)で低下を認めた。 ΔLSA は、Body Mass Index (BMI) と正相関($r = 0.52, p < 0.05$)を、また、等尺性膝伸筋筋力と宣言前 LSA に負相関関係($r = -0.55, p < 0.05; r = -0.52, p < 0.05$)を示した。 COVID-19 による緊急事態宣言が、心血管疾患患者の身体的および心理的機能に影響を及ぼすことを示した。また、緊急事態宣言前後で、身体的機能や身体活動が保たれた(肥満ではない)心血管疾患患者が、活動を控える傾向にあった。